

みなさんは、海洋プラスチックという言葉を知っていますか。海洋プラスチックとは、海流によって漂い続けるたぐさ、人のプラごみや時間がたつにつれてれっかしたマイクロプラスチックと呼ばれる小さなつぶにすぎたをかえて、海洋生物にあくえいキョウをあたえているものごとで、かん境問題のうちです。海洋プラスチック問題が進むと生物のくらすかん境にえいキョウが出ます。

のせいで、生き物がたぐさ人の命をサロとしてしまったりして

資料1		
プラスチック	たぐさ	たぐさ
たぐさ	たぐさ	たぐさ
たぐさ	たぐさ	たぐさ

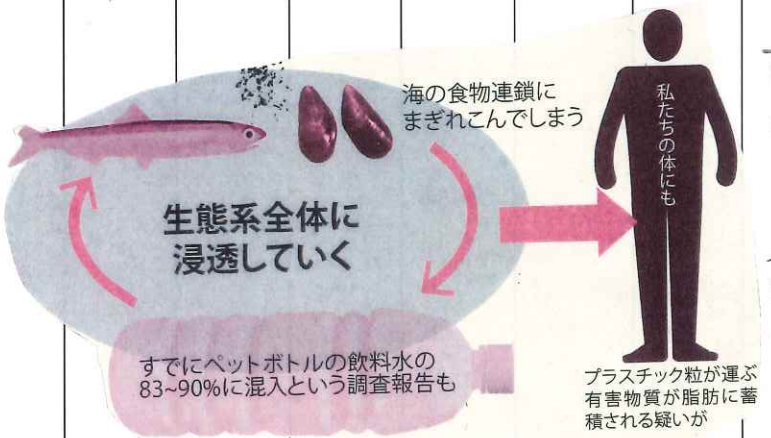


まず、資料1は、海洋プラスチックのせいであつた

サロとしたアホウビリの写真は、写真です。資料2の図を見ると、魚や貝などの魚海類がマイクロプラスチックをへ良べてしま

資料2

それを人間がへ良べると人間にも害があるというこ



(14さいからのプラスチック環境問題より)

(プラスチックプラネットより)

それでは、なぜ海洋プラスチック問題は起こるのでしょうか。「海洋にただようプラスチックゴミしよりのシステムがととのっていない地いきを流れる川が運んできた物です。調査によると10の河川水系から流れた物が海洋プラスチックゴミの90%をしめさる中でも一番多い量をあ

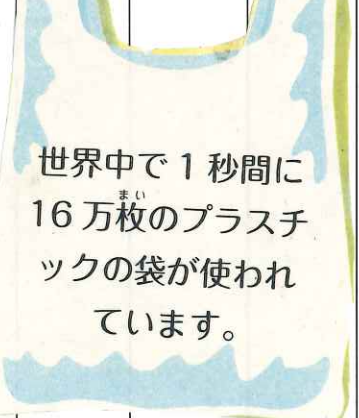
たえこいるのは、中国の揚子江で。お目には、揚子江の川べりの様子です。きちんとな理々木なかつたゴミが、たくさんすてられていきます。これが海に流れていて、海洋プラスチックやマイクロプラスチックになり、生物や人間に害をおよぼします。



(プラスチックプラネットより)

それでは、ぼくたちはどのように対策をとこいけばよいのでしょうか。

世界中で	1秒間に
16万枚のプラスチックの袋が使われています。	



(プラスチックプラネット)

お目には、世田谷中で1秒間に16万枚のプラスチックの袋が使われていることが分かります。このたんさんのプラスチック袋も海に流れついでしまいます。プラスチックせい品が、海に流れて

いかないように今からぼくが言うことを実行して欲しい。①買物の時プラスチックや発泡スチロールなどはなるべく選はないようにすること。②お店の人がプラスチックのふくろ、いりま
すか」と聞いてきたら「ことあります。これだ
らぼくたちにもできるのではないでしょう。生
活を少し変えるだけで、海を守ることができ
ます。

次頁料5は、国連が二〇三〇年
までに目指す持続可能な開
発目標のSDGsです。この中
も海洋プラスチック問題には、
6番と14番と15番が大切だと
考えました。地球のかん境
を守ることは、自らがたち
のくらす場所を守る
ことでもふだんの生活の中
から取り組んでい
きましょう。

次頁料5

国連が2030年までに目指す持続可能な開発目標SDGs



(14と15からのプラスチックと環境問題より)